



平成 27 年 12 月 7 日

東京工業大学 T D B 先端データ解析共同研究講座

研究代表 高安美佐子

株式会社帝国データバンク

顧客サービス統括部長 稲見保

深秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、東京工業大学帝国データバンク先端データ解析共同研究講座では、1 周年目の成果報告を兼ねて、来る 12 月 14 日（月）に研究会を開催することになりました。

当共同研究講座は、国内の数十万社の取引関係が構成する複雑なネットワーク構造を分析し、数理モデルを構築するという世界的にも注目されている独自の視点から、企業活動・地域経済・産業構造を分析し、大規模近未来予測シミュレーションを行うことを目指し、研究を推進しております。

研究会では、まず、当研究講座研究代表、高安美佐子准教授から、これまでの講座全体の研究成果を報告いたします。続いて、当研究講座の出口弘教授、および、高安秀樹特任教授からそれぞれ独自の手法で進めている新たな共同研究の狙いを報告します。その後、二人のゲストから基調講演をいただきます。最後の講演者である Eduardo Viegas 氏は、英国 PwC にて定量分析チームを率いて実務で活躍されているだけでなく、Imperial College London の数理物理学のチームとともに、金融リスクや経済物理学に関する論文を Royal Academy of Science などの権威ある学術論文に掲載されています。英国での実務とアカデミーをつなぐ広い視野の最先端の話が予定されています。

年末の忙しい時期ですが、今後の研究についてのご指導、ご教示を賜りたくご案内申し上げます。

【プログラム】

- ・ 2015年12月14日（月）11:30～16:10
- ・ 東京工業大学博物館 3階 フェライト記念会議室（東急目黒線 大岡山駅前）
（<http://www.cent.titech.ac.jp/Information/map.html>）
- ・ 定員：60名
- ・ 参加費：無料

11:00～11:30 会場受付

11:30～11:40 開会の辞

株式会社帝国データバンク 全社営業担当執行役員・顧客サービス統括部長 稲見保

11:40～12:20 報告1 「ビッグデータを用いた企業間取引の近未来シミュレーションの基盤構築」

東京工業大学TDB先端データ解析共同研究講座 研究代表 高安美佐子 准教授

12:20～13:40 休憩（軽食あり）

13:40～14:05 報告2 「企業間取引ネットワークを利用した産業関連諸表の構築とその応用」

東京工業大学TDB先端データ解析共同研究講座 出口弘 教授

14:05～14:30 報告3 「超多変数ビッグデータから因果関係を推定する方法の企業データへの応用」

東京工業大学TDB先端データ解析共同研究講座 高安秀樹 特任教授

14:30～15:00 基調講演1 「(タイトル未定)」

福田 達夫

15:00～15:50 基調講演2 「The commonalities between ecosystems and financial systems」

PricewaterhouseCoopers UK (pwcUK), Heads of Quantitative Analysis and Business Solutions,
Senior Manager Mr. Eduardo Viegas

15:50～16:00 閉会の辞

東京工業大学TDB先端データ解析共同研究講座 研究代表 高安美佐子 准教授

注：東京工業大学では来年4月に改組が行われます。当共同研究講座は、21世紀「超スマート社会」の実現に伴う様々な問題解決のための特別組織、「ビッグデータ数理科学研究ユニット（PI:高安）」の元で、今後、益々科学と社会を結びつける大きな役割を担う予定です。